

HITO NEWS

HITO
MEDICAL
CENTER
NEWS

2019.4
No.20



|特|集|

新体制で地域と共に未来へ

病院長、理事長ごあいさつ

新任医師紹介

看護部長ごあいさつ

入社式

迅速な脳卒中治療が寝たきりを防ぐ

ロボットで変わるリハビリテーション

適切な治療で、花粉症に悩まない

TOPICS

茶摘みはじまる 初夏の新宮村

2019年4月、新体制で地域と共に未来へ。

4月より病院長が交代いたしました。新病院長には、愛媛大学大学院名誉教授、同大学前任の石川は当院理事長及び石川ヘルスケアグループ総院長として、医療・介護連携や

付属病院前副院長の相引眞幸が就任し、救急医療・急性期医療を更に強化して参ります。在宅復帰支援・生活支援の推進を図って参ります。

医療・介護のスマーズな連携で、いきるを支える。

期待と変化に満ち溢れた新年度が始ま
りました。これらの社会は、老年人口・
生産年齢人口が共に減少する2040年に
向かって、いかに自分らしさを維持しながら
長生きするかが重要になってきます。
これを実現するためには、私達医療・介護
従事者が、病気の治癒だけにフォーカスし
入院期間中の支援のみを行う「治す医療」
から、入院前や退院後の生活まで目を向け、
元の生活に早期に戻れるための「治し支え
る医療」へと転換することが必須となりま
す。また85歳以上の高齢者の多くは認知症
を発症しており、このような病気を「抱えて
生きること」への支援も必要です。

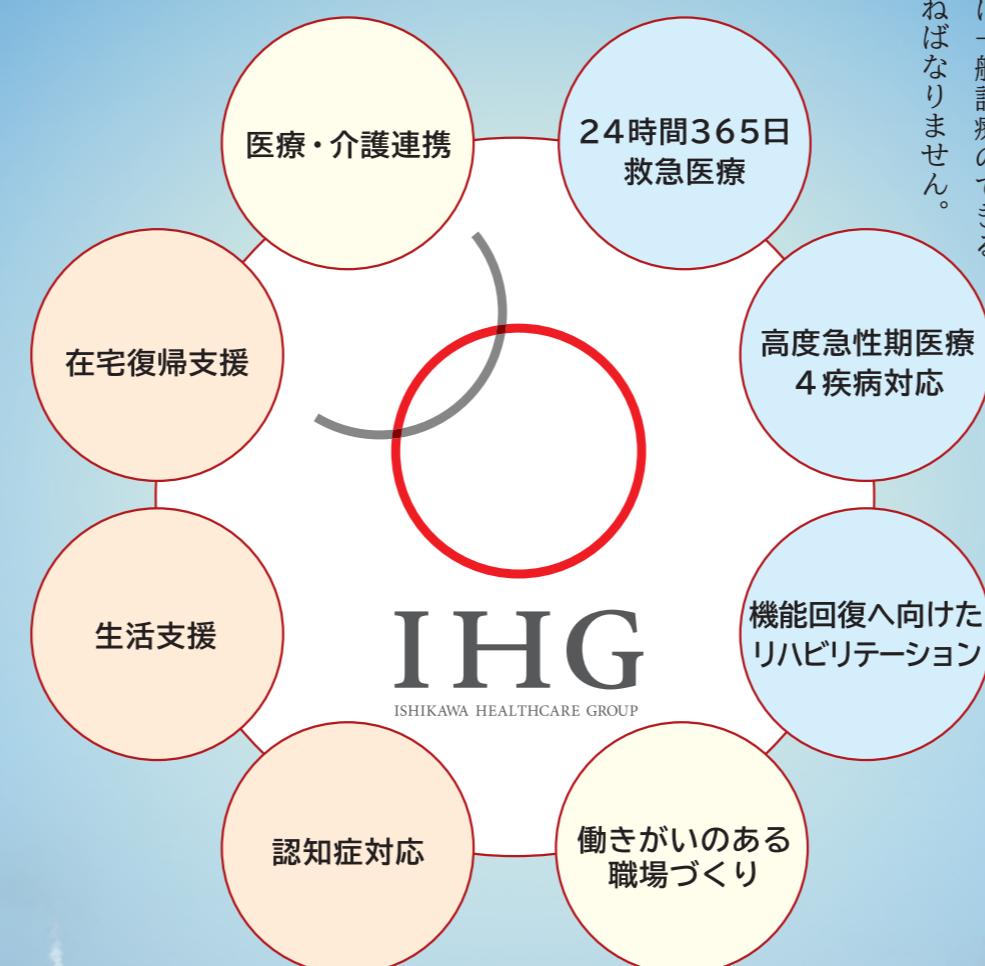
これらの課題は、決して一つの医療機関
だけで解決出来るものではありません。
いたします。

地域の医療機関・福祉施設・行政・患者・
家族が垣根なく情報共有を行い、生活の視
点を持つた医療、あるいは医療・介護の視点
を持つた生活支援を行うことが非常に重要
です。こうした地域内多職種連携によって、
健康寿命の伸長や、シニア世代の活躍によ
る生きがい創出、地域の生産性の向上と
いった、「持続可能な地域の未来」へと道が
開けるものと考えます。

5月からは元号も改まり、様々な面で変
化に満ちた一年となります。私自身も、

HITO病院理事長、石川ヘルスケアグループ
総院長として、スタッフや地域の皆様と共に
「いきるを支える」街づくりに向け邁進して
参ります。今年度もどうぞよろしくお願い
いたします。

HITO病院 理事長
石川ヘルスケアグループ 総院長
石川賀代 ISHIKAWA KAYO



**HITO病院 病院長
相引 真幸 AIBIKI MAYUKI**

昭和53年金沢医科大学医学部麻酔科に入局。58年香川医科大学に転出、平成7年同病院の集中治療部副部長に就任。平成13年愛媛大学医学部救急医学講座に転出、講師・助教授を経て19年救急医学分野の教授に就任。31年3月教授退任、愛媛大学大学院の名誉教授称号を授与。

【経歴】
主な公職：愛媛大学医学部附属病院 医療安全、災害・危機管理担当顧問
主な学会活動：日本救急医学会評議員（専門医・指導医）、
日本集中治療医学会評議員（専門医）



4月1日付けでHITO病院の病院長と
して赴任しました、相引眞幸と申します。

昨年度まで愛媛大学で救急医学を軸に、
急性期の患者さんに接して参りました。そ
の中で学んだことは、救急医療では病院内
のみならず病院外での活動、例えば救急隊
や他院の医療者との連携が必須であること
です。これは、本院が急性期病院として地
域における責任を全うするためにも、極め
て重要であると思います。

また、医学教育を救急医療の視点から見
ると、各臓器を診る専門的な診療に加え、
一般的な診療もできる医師を育成すること
が更に重要です。救急搬送される患者さん
は様々な症状・疾患を抱えて来られます。
その時ある特定の臓器の診療しかできない
のでは、医師が何人いても足りません。専
門医になる前に一般診療のできる
医師を育成せねばなりません。

最後になりましたが、私は旧宇摩郡伊予
土居町の出身です。地元出身者の一人とし
て、少しでも地域の方々のお役に立てれば
と思っております。何卒御指導、御鞭撻を
賜りますようお願い申し上げ、院長就任の御
挨拶とさせていただきます。どうぞよろし
くお願い申し上げます。

多職種連携と人材育成で、地域の救急医療を守る。

現在、人口の超高齢化に伴い、地域包括
ケア体制が運用されています。この体制の
内で、2次輪番制救急病院として、地域で
診療が完結できる体制構築に寄与する事が
必要です。それと同時に、高次診療の適応
がある患者さんに対しては、ドクターへリ
等の広域搬送手段を用いた体制を更に強化
する必要があります。

その意味で、本院の役割は大きいものと考
えております。

新任医師紹介

新看護部長ごあいさつ

看護部長

細川 克美
ほそかわ
かつみ



四月一日付けて、
看護部長として着任
しました細川克美で
す。この場をお借り
して皆様にご挨拶申
し上げます。

前職は、香川大学

医療の有り様が矢継ぎ早に具体化される変革の過渡期に、看護部長の命を受け、身が引き締まる思いでいっぱいです。今後はHITO病院の名前に込められた様々な看護部として地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる看護の提供を目指したいと思います。また、ワークキャリアとライフキャリアの相互作用を活かし、仕事に誇りとやりがいを感じられる職場づくりを整備したいと考えています。どうぞ、ご指導ご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新入職員を迎えるました！



4月1日(月)、新元号発表の

興奮も覚めやらぬ中、石川ヘルスケアグループ合同入社式を行いました。今年は総勢65名の新入職員を迎え、IHGの総職員数は約1300名となりました。理事長、病院長からの歓迎挨拶では、協力と連携・学び続ける姿勢・忍耐と継続の大切さが伝えられ、新入職員は希望と緊張の浮かぶ表情で、真剣に耳を傾けていました。これから地域を支える力となってくれることを期待しています。



脳神経外科 部長 安田 浩章 やすだ ひろあき

【専門分野】脳血管内手術、脳血管障害の外科、脳神経外科全般
【資格・所属学会】医学博士、日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、頸動脈ステント留置術実施医、日本脳卒中学会、身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）、日本脳神経外科コングレス、日本脳卒中の外科学会
【出身大学・卒業年】山口大学・1995年
【モットー】一人一人に合った最善の医療、信頼される医療を提供できるよう心がけています。
【ひとこと】脳動脈瘤、頸動脈狭窄、脳梗塞、脳出血などの脳血管内手術ならびに外科的手術を専門としています。

脳血管内治療科 部長 岡本 薫学 おかもと しげたか

【専門分野】脳血管内治療（脳血管障害）
【資格・所属学会】脳神経外科学会専門医、脳卒中学会専門医
脳神経血管内治療学会 専門医・指導医
【出身大学・卒業年】川崎医科大学・2007年
【モットー】低侵襲治療
【ひとこと】患者さんにとって最善の指導を相談しましょう。

放射線科 渡部 笑麗 わたなべ えみり

【専門分野】放射線科、画像診断
【資格・所属学会】画像診断専門医、日本医学放射線学会、日本核医学会
【出身大学・卒業年】愛媛大学・2011年
【モットー】今を大切に
【ひとこと】やりがいを感じ誇りを持って、丁寧で素早い読影ができるよう日々の画像診断に取り組んでおります。

循環器内科 Robert Zheng ロバート ゼング

【専門分野】循環器内科
【所属学会】日本循環器学会、日本内科学会
日本心臓血管学会、日本超音波学会
【出身大学・卒業年】徳島大学・2016年
【モットー】犬馬の労
【ひとこと】新しい環境で慣れないこともあります、一人ひとりを丁寧に診察できるように取り組んで参ります。

【臨床研修医】

わたなべ たくろう
渡邊 拓郎

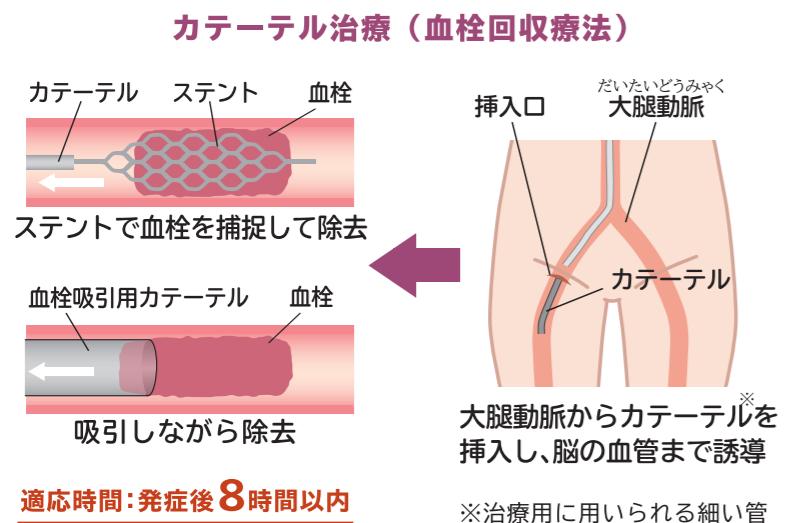


【出身大学・卒業年】
愛媛大学・2019年
【モットー】
一意専心
【ひとこと】
微力ながら精一杯頑張りたいと思います。

むらやま けんたろう
村山 健太郎



【出身大学・卒業年】
愛媛大学・2019年
【モットー】
一期一会
【ひとこと】
患者様一人ひとりとの出会いを大切にし、日々努力していきたいと思います。



脳のカテーテル治療

脳梗塞の治療法のひとつに、血栓を溶かす薬剤を点滴で注射する治療法がありますが、血管の再開通率が低いことや、大きな血栓は溶かしきれない場合があることなどから、近年注目されているのは脳のカテーテルによる血栓除去です。治療には、左図のような血栓を絡めたるステント型のカテーテルや、血栓を吸引除去するカテーテルを用います。

当院の脳卒中対応について
このように、発症前の予防や発症後の迅速な対応が重要な脳卒中に對し、当院では6年前より「脳卒中センター」を組織し、チーム医療体制で対応しております。いつでも脳卒中患者さんを受け入れ迅速に治療が行えるよう、24時間365日の救急体制を整えています。

また、医師が地域のコミュニティへ出向いて、市民の皆さんに脳卒中予防や早期受診の重要性をお伝えする講演会等も行っています。



脳血管内治療科 部長
おかもと しげたか 岡本 薫学



脳神経外科 部長
やすだ ひろあき 安田 浩章

脳神経外科	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	篠原	安田	久門	岡本	尾崎	—

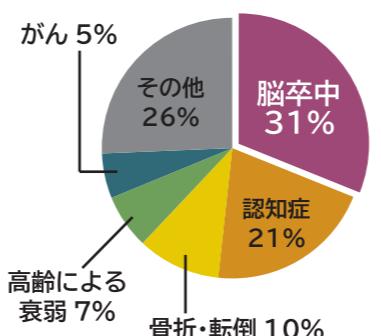
<ご予約はこちら>

0896-58-2226 HMSC(サポートセンター)直通

外来診療担当表

さらにこの4月からは、脳神経血管内治療学会の指導医（若手医師の指導ができる医師）1名、専門医1名と、脳のカテーテル治療を専門に行う医師が着任し、脳卒中センターの常勤医が5名体制となりました。四国全体で見ても脳のカテーテル治療を専門に行う医師は少ないのが現状です。今回の体制強化を受け、急速に受け入れられるよう、スタッフ一同研鑽を積んで参ります。お困りのことがあればご連絡ください。

寝たきりとなった主な原因



(厚生労働省「平成28年 国民生活基礎調査」より ※一部改編あり)

日本において、寝たきり状態になる原因の第1位は「脳卒中」であり、また脳卒中は同時に死因の第3位もあります。これを受け、昨年12月の国会では、「健康寿命の延伸等を図るために脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（脳卒中・循環器対策基本法と略す）が可決・成立されました。これは脳卒中と循環器病（死因第2位）が、どちらも発症後の迅速な治療が改善の鍵となり、またリハビリーションや再発・重症化予防が患者の生活の質の改善に繋がる病気であるため、全国の救急医療体制の充実と、継続的な国民への啓蒙を目指して法制化されたものです。

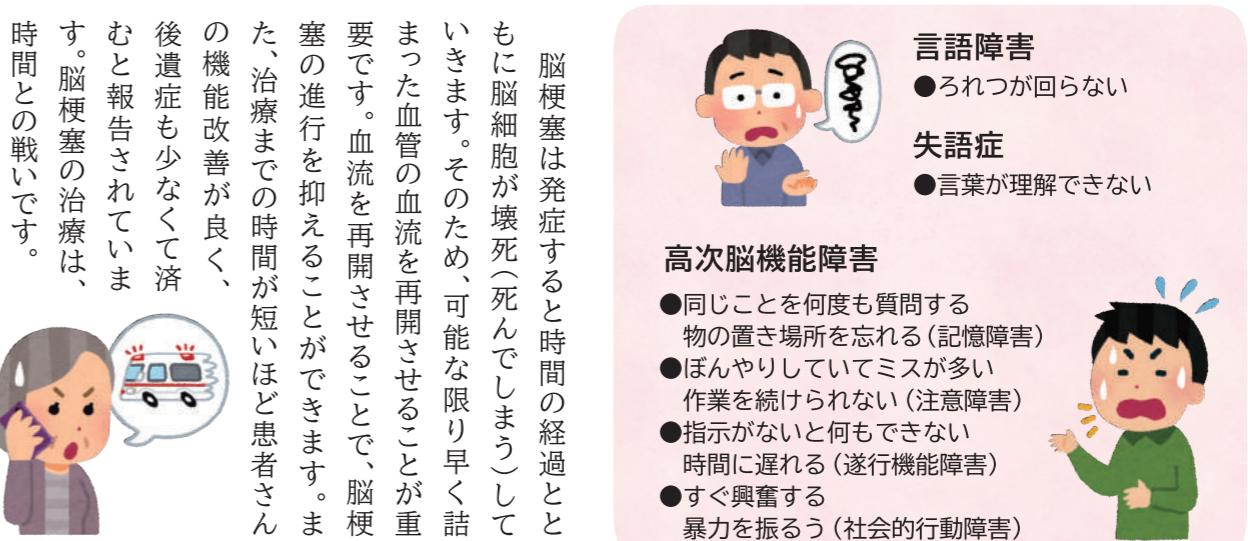
迅速な脳卒中治療が寝たきりを防ぐ

これだけ国が脳卒中対策を進めているということは、脳卒中がそれだけ大変な病気であるということです。あらかじめ知識をつけ、症状が出た時に迅速に対応可能な医療機関へ速やかに受診することが大切です。

脳梗塞について

寝たきり原因1位の脳卒中の中でも脳梗塞が最も多い原因となっています。

脳梗塞とは、脳に栄養を送っている血管が塞がることで脳の細胞が死んでしまう病気です。血管が塞がる原因は様々あります。特に血栓（血の塊）が原因となることが多い、脳の太い血管が血栓で詰まる事で重篤な症状を引き起こします。



脳卒中・循環器対策基本法成立

医療・介護教育

宇摩地域医療フォーラム
2019開催

3月3日（日）、当院3階大会議室にて、「宇摩地域医療フォーラム2019」を開催しました。

高齢社会を迎える医療・介護従事者にとって、人生の締めくくりの時期に患者さんの意思を十分に尊重し、その人にとって最善の医療・ケアを提供することが求められています。また患者さんの側も、最期を迎える時にはどんな医療や介護を受けたいか、自ら意思決定できなくなったら誰に決めてもらいたいなどについて、日頃から家族や医療者とのコミュニケーションの中で明確に示し、共有しておくことが必要です。

そのコミュニケーションのプロセスを指す「アドバンス・ケア・プランニング」という考え方について、東京大学特任教授の会田薫子先生と、当院緩和ケア内科統括部長の大坂巖医師から講演をいただきました。当日は約150名の方にお越しいただきました。

今や2人に1人が生涯で1度はがんになると言われている時代の中で、これからを生きる中学生の皆さんにがんに対する正しい知識をつけてもらうことで、できるだけ早いうちからがんを防ぐ生活を心がけてもらったり、またご家族にもぜひがん検診を勧めてもらいたいとの思いで講義を行わせていただきました。

四国中央市保健センターからも職員の方が聴講にお越しくださいり、市のがん検診受診率の向上に役立つ取り組みとして、今後どのように展開させていけるかなどの意見交換も行いました。

未病・予防 / 医療・介護教育



イベントスケジュール

日 時	内 容	場 所	お問合せ先
5/18(土) 14:30~	音楽療法コンサート 「絆を深める癒しのコンサート～ともに未来へ～」	HITO病院1階 ホスピタルストリート	0896-29-5633 HITO病院 総務管理課
6/1(土) 12:30~	集団栄養教室 「脳卒中と血圧の関係」	HITO病院3階 大会議室	0896-29-5210 HITO病院 栄養科
7/21(日) 10:00~	HITOフェスタ2019	HITO病院全体	0896-29-5633 HITO病院 総務管理課
8/17(土) 12:30~	集団栄養教室 「心臓病と高血圧」	HITO病院3階 大会議室	0896-29-5210 HITO病院 栄養科

詳しい情報は、HP や院内掲示でお知らせいたします。

HITO NEWS 表紙デザインの HITO

イラストレーター・絵本作家
きたによしこ

愛媛県松山市在住。印刷会社に勤務した後、フリーランスのイラストレーターとして広告などの商業イラスト制作に携わる。和紙を使ったコラージュ撮影し、デジタルに落とし込むという独特の混合技法で絵を描く。
2014年に完成させた絵本「夜のおたんじょう会へ」が代表作。



医療・介護教育

2月28日（木）、四国中央消防防災センターにて、「HITO病院市民公開講座」を開催しました。

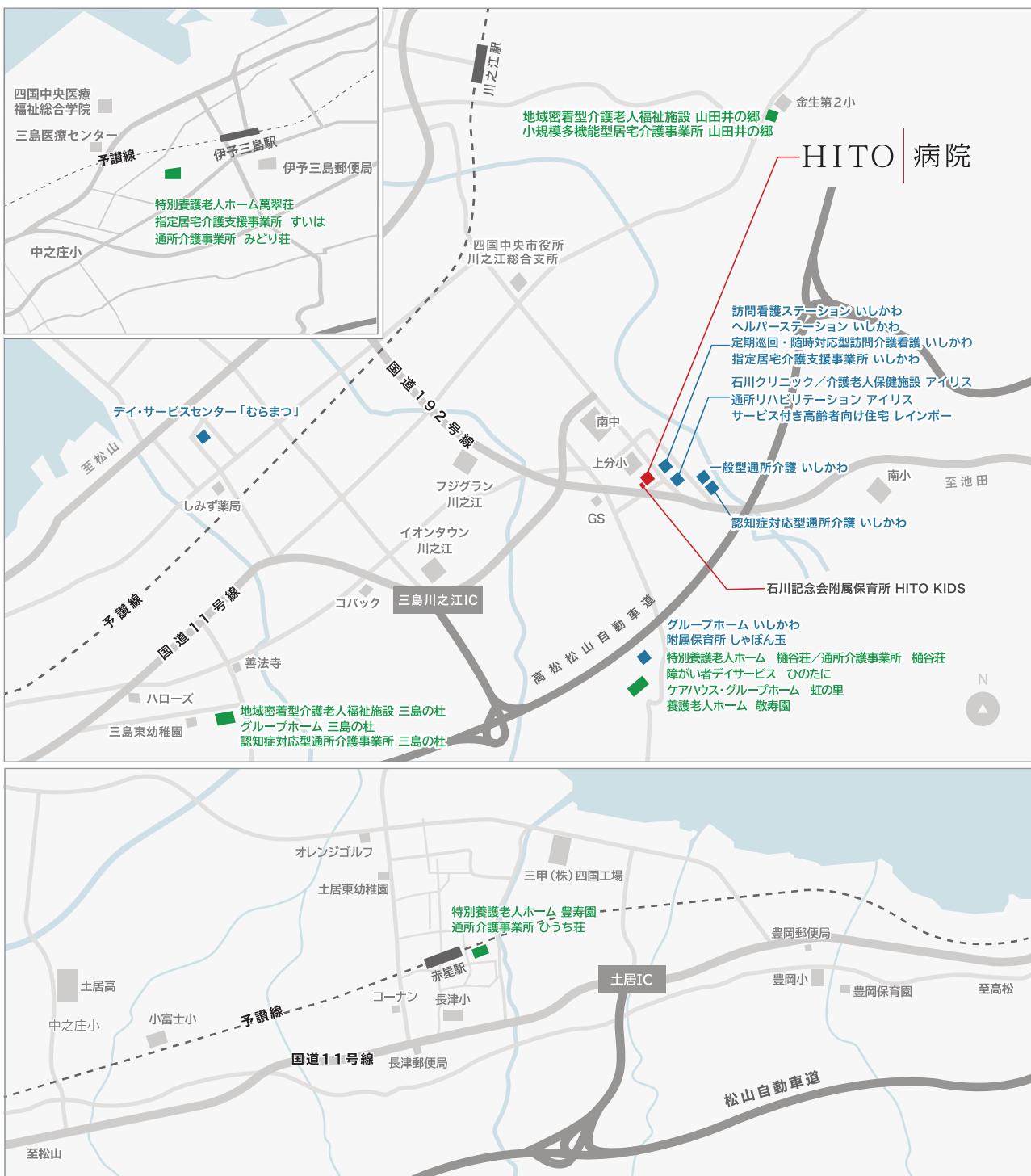


講師には徳島大学病院てんかんセンター副センター長 多田恵曜先生と、同病院脳神経外科講師 卯礼英生先生をお招きし、高齢化に伴い増加しつつある成人てんかんと不随意運動について、わかりやすく説明いただきました。

当日は平日の遅い時間にも関わらず総勢115名の方がお越しください、講演終了後には個別相談コーナーを設けるなど、盛会のうちに終えることができました。

2月28日（木）、四国中央消防防災センターにて、「HITO病院市民公開講座」を開催しました。

講師には徳島大学病院てんかん



表紙イラスト | 新宮茶畑（しんぐううちやばたけ）



高地で朝晩の温度差が大きく、清澄な水とさわやかな空気、お茶の香りを良くする土壤が揃う新宮町では、豊かな香りと滋味あふれる味わいの新宮茶を無農薬で育てています。茶摘み始まる初夏のころには、一面に広がる茶葉の緑と空の青のコントラストが美しく、爽やかな空気で満ちています。

HITO病院
Official Site



HITO | 病院

※
社会医療法人石川記念会 HITO病院

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町 788番地1
TEL: 0896-58-2222 FAX: 0896-58-2223 URL: hito-medical.jp

※社会医療法人とは、公的機関に準ずる機関で、営利を目的としない公益性の高い医療法人のことです。